

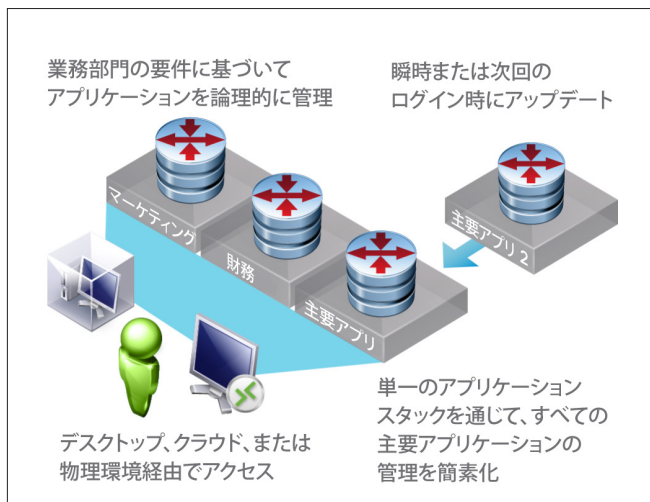
VMware App Volumes

概要

VMware App Volumes™ は、リアルタイムでのアプリケーションの配布とライフサイクル管理機能を提供します。ユーザーの環境に影響を及ぼさず、アプリケーションやデータをユーザーへ迅速に提供できるほか、管理されたボリュームを使用することにより、インフラストラクチャと管理のコストを削減することが可能です。従来のアプリケーション管理ソリューションとは異なり、App Volumes ではコストとユーザー環境のバランスを両立しながら、デスクトップを提供できます。

主なメリット

- ノンパーシステント（非接続型）アーキテクチャにおけるアプリケーション配布の最適化によって、デスクトップのコンピューティング、ネットワーク、およびストレージコストの削減が可能です。
- ほかのアプリケーションや OS に修正を加えずに、アプリケーションワークロードを数秒で提供またはアップデートできます。
- エンドユーザーのパフォーマンスに影響を及ぼすことなく、低コストかつ優れたパフォーマンスでデスクトップを容易に拡張できます。



デスクトップ環境へ動的にアプリケーションを展開

App Volumes を使用することで、大規模な環境でもわずか数秒間で、アプリケーションやデータをユーザーおよびデスクトップに提供できます。アプリケーションは読み取り専用の共有仮想ディスクに格納され、ユーザー、グループ、またはデバイス単位で、デスクトップに即座に関連付けられます。ユーザーにとって、これらのアプリケーションは物理的にインストールされたアプリケーションと同様に動作するため、シームレスにデスクトップを操作することが可能です。

アプリケーション ライフサイクル全体を管理

App Volumes を使用したアプリケーションのライフサイクル管理には、プロビジョニング、提供、メンテナンス、運用の終了などが含まれます。このプロセスは、最初にアプリケーションをユーザーまたはデバイスに提供することからはじまり、アプリケーションにアップデートやアップグレードが必要になった場合、App Volumes がこのプロセスを迅速化させ、アプリケーションの置換も容易に行うことができます。

インフラストラクチャのコスト削減と効率性の向上

App Volumes と一緒にオンデマンドのレイヤー機能やノンパーシステントアーキテクチャを活用することにより、コンピューティング、ネットワーク、およびストレージのコストを削減できます。App Volumes の仮想ディスクは、VMware vSphere® がサポートする任意のデータストアに配置できるため、IT 部門は、VMware Virtual SAN™ など、読み取り速度（IOPS）に優れた高速ストレージを含む最適なストレージを利用できます。CIFS 共有を利用してネットワーク経由でアプリケーションをストリーミングする必要はありません。また、App Volumes と VMware Horizon® 6 (with View) を組み合わせることで、仮想デスクトップにおけるアプリケーションの提供と管理を動的に行うことができるほか、Horizon 6 を単独で使用した場合と比べて、ストレージ容量の要件を 30 % 削減することが可能です。Citrix XenApp®, Citrix XenDesktop®, RDSH など、ほかのタイプの環境でも、App Volumes を使用して、同様にコストを削減できます。

一貫したエンドユーザー環境をノンパーシステント（非接続型）環境で提供

エンドユーザーは、完全にカスタマイズ可能なデスクトップを活用できるうえ、独自のアプリケーションを自由にインストールできるようになります。また、セッションを終了しても変更した設定を維持することが可能です。IT 部門は、ノンパーシステントアーキテクチャによってコストを削減しながら、一貫したユーザー環境を提供できます。

App Volumes について

App Volumes をデスクトップにインストールすると、App Volumes Manager からそのデスクトップにアプリケーションが割り当てられます。IT 部門は、複数の仮想ディスクにまたがる共有ボリュームに格納されるアプリケーション スタックを作成し、ボタンをクリックするだけで、これらのアプリケーション スタックをデスクトップ、または特定のユーザーやグループに提供することができます。エンド ユーザーには、App Volumes から提供されたアプリケーションが表示され、実際にインストールされているかのように動作し、ユーザーのセッションやデバイスが変わっても、アプリケーションはシームレスにエンド ユーザーに提供されます。エンド ユーザーがいつでもデータを使用できるようにするオプションも用意されており、IT 部門は、リアルタイムでアプリケーションをアップデートしたり、入れ替えたりすることができます。また、割り当てられているアプリケーションすべてを数秒で削除することも可能です。

App Volumes は、VMware のハイパーバイザー / 仮想インフラストラクチャ、および仮想ディスクが配置されているストレージと緊密に連携するため、エンドユーザー数が増加してもソリューションを容易に拡張できます。

機能とメリット

アプリケーション管理

- リアルタイムのアプリケーション配布：** モバイルアプリケーションのようにアプリケーションをデスクトップ環境に提供します。仮想ディスクを通じてアプリケーションおよびミドルウェアの提供やアップグレードをリアルタイムで行うため、アプリケーション展開に必要な時間を数時間から数秒にまで短縮できます。仮想ディスクからデスクトップに効率的にアプリケーションを配布することで、管理コストを削減できるほか、アプリケーションのプロビジョニング時に、パッケージング、修正、またはストリーミングを行う必要はありません。App Volumes では、ログイン時や起動時に、すぐにアプリケーションを利用可能にすることができます。
- デスクトップ インフラストラクチャ コストの最適化：** 単一のアプリケーション イメージを共有することでワークロードの統合管理を実現しながら、デスクトップやユーザー固有のデータや設定を維持できます。複数の仮想マシンに、単一のワークロード イメージを適用するオプションも用意されており、ネットワークやコンピューティングのリソースに影響を及ぼさずに、ストレージ容量の要件を削減できます。柔軟なデリバリー オプションによって、アプリケーションやデータを、一連のユーザー、グループ、またはデバイスに配布することも可能です。App Volumes は、ハイパーバイザー向けにデザインされており、VMware vSphere 環境で実行するために最適化されています。また、オペレーティングシステムとアプリケーション管理を分離することで、XenApp などの公開アプリケーション環境でテンプレートを管理するコストも削減します。

ノンパシステント環境におけるエンド ユーザーの生産性の向上

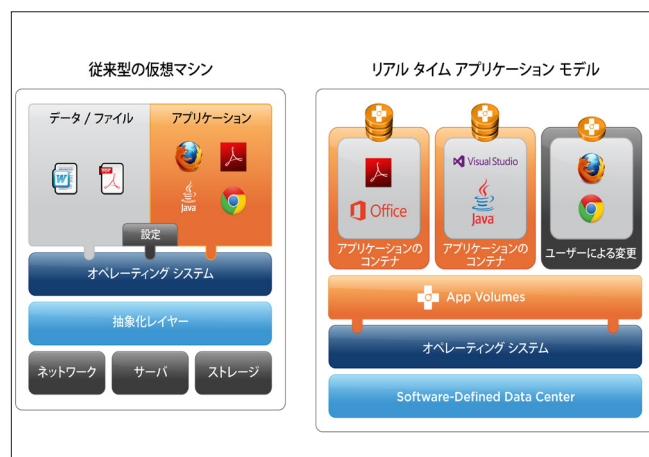
- カスタマイズ可能なユーザー環境：** エンド ユーザーにはパシステント（持続性のある）デスクトップ環境が提供されるため、生産性が向上します。アプリケーションは、エンド ユーザーのログイン時またはログイン中にリアルタイムで配布され、アプリケーション（ユーザーがインストールしたアプリケーションを含む）とデータは、エンド ユーザーがどこにいても利用できることから、従業員の生産性を最大限向上させることが可能です。また、アプリケーションは、オペレーティング システムに実際にインストールされているかのように動作するので、ユーザー環境に影響することなく、優れたパフォーマンスを確保できます。

詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、App Volumes のオンライン ドキュメントを参照してください。



App Volumes で管理される仮想マシンでは、オペレーティング システム以上のレイヤーが仮想化されます。アプリケーション、データ ファイル、設定、ミドルウェア、構成のライセンスは個別のレイヤーとして機能します